

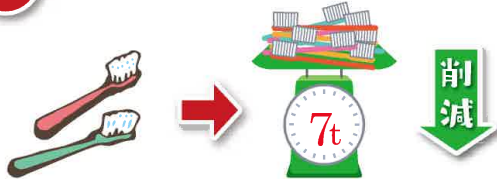
環境にやさしい 京都エコ修学旅行

に参加される皆様へ

京都市オリジナルのエコバッグにプリントされている「DO YOU KYOTO?」という言葉、これは京都市で地球温暖化防止京都会議COP3が開催され、京都議定書が締結されたことにちなんで、「環境に良いことしていますか?」という合言葉として、世界で使われるようになった言葉です。

修学旅行中に実行する3つの取組

1 歯ブラシの持参・使用



こんな効果が!

京都市を訪れる修学旅行生は年間約70万人(令和元年度)。修学旅行生の皆さんが、使い捨ての歯ブラシ(10g)を使わずに、歯ブラシを持参すると、約7トンものごみが減る計算になります。

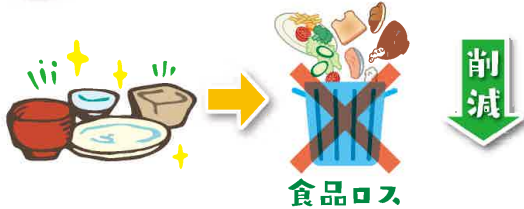
2 エコバッグの携帯, マイボトル(水筒)の持参



京都市の家庭から出るごみに含まれるレジ袋の量だけで年間約3.2億枚(令和元年度)。修学旅行中もエコバッグを使って買い物をすることで、捨てられるレジ袋の減量につながります。

日本の1人当たりのペットボトルの年間消費量は約191本(令和元年度)。マイボトル(水筒)を持参することで、ペットボトルの消費削減につながります。

3 食事の食べきり, 食べ残しゼロ



飲食店や旅館・ホテル等をはじめ、京都市内の事業所から出る燃やすごみの約4割は生ごみで、そのうち約5割が手つかず食品や食べ残しなどまだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」です。旅館・ホテルで出された食事を残さず、できるだけ食べきることで、食品ロスを減らすことができます。



お店の人にあらかじめ自分の希望を伝えると取り組みやすいね!

例えば
こんなとき...

- 買い物では、「レジ袋(紙袋・小分け袋)はいりません。」
- 食事でごはん(おかず)があまり食べられなさそうなとき、「ごはん(おかず)を少なめにしてください。」

ほかにもどんな工夫ができるか、みんなで考えてみましょう。

ヒントは
こちら

学校独自で考えたエコな取組を、旅行中に実行する！

エコ・アクション+1

プラスワン

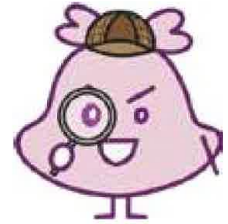


取組のヒント①

「エコの視点」でまちを観察してみよう！

みなさんが普段生活しているまちを「エコの視点」で観察してみましょう。
今回訪れる京都と比べて、どんなちがいがああるか、調べたりして、気づいたことを話し合ってみましょう。

<メモ>



取組のヒント②

「エコの観点」で自分の行動を振り返ってみよう！

普段の生活の中のわたしたちの何気ない行動が、環境に負担をかけています。
「エコな観点」で普段の自分の行動を振り返ってみて、気づいたことを話し合ってみましょう。

<メモ>

取組のヒント③

他校の「エコ・アクション」を調べてみよう！

「京都エコ修学旅行」に参加したほかの学校が、「エコ・アクション+1」で、どのような取組をしたのか、調べてみましょう。

<自分たちにできる「エコ・アクション+1」は…>

京都市 エコ・アクション+1 検索

エコに意識を向けることも
エコ・アクションの一歩だよ！



みなさんも修学旅行で、3つの取組+αを実行するとともに、日常生活においても、ごみの減量に取り組み、一緒に「DO YOU KYOTO ?」の輪を広げましょう♪



京都市は持続可能な開発(SDGs)を支援しています。



発行:京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町4 8 8 番地

TEL:075-222-3948 FAX:075-213-0453 令和4年3月発行 京都市印刷物 第034073号

